

183 法学部第三年学生岡野敬次郎・植村俊平他五十九名得業士・学士の称号に付懇願書
〔明治十八年四月〕

〔表紙〕
「懇願書」

懇願書

法理文学部第三年学生及ヒ医学部三等学生謹テ東京大学総理閣下ノ左右ニ懇願仕候伏シテ明治十六年二月十三日日本学御告達ヲ按スルニ生等以降ノ学生ニシテ全科ヲ卒業致シ候者ハ得業士ノ学位ヲ授ケラレ更ニ高等ノ試問ヲ經テ而シテ后学士ノ栄称ヲ賜ハル、トニ相成候夫レ我教則ハ日ニ整頓シ学科ハ日ニ高尚ニ赴キ授業ノ方モ随テ進歩ス既往ヲ以テ将来ヲ察スルニ後ノ卒業生ハ前ノ卒業生ニ優ルコアルモ劣ルコナキハ疑フ可ラサルコニシテ生等ノ喋々ヲ須タサルナリ故ニ仮令之ニ授クルニ高等ノ学位ヲ以テセサルモ之ニ授クルニ下等ノ学位ヲ以テスヘカラサルハ当然ノ事ト奉存候然ラハ何故新ニ得業士ノ称ヲ設ケラレタルカ是レ蓋シ卒業ハ只大学ノ課程ヲ履ミ終リタルノミニテ是レ大成ニ至ルマテハ前途甚タ遠ク孳々忘ラサルコ尚ホ在学ノ日ノ如クナランコヲ欲シ偏ニ後進ヲ奨励センカ為メニ此学位ヲ設ケラレタル義ニテ可有之決シテ生等以後ノ卒業生ハ生等以前ノ卒業生ニ劣レリト為サレタルニハ万々無之事ト奉察候若シ果シテ然ラ

ハ此新設ノ法ハ生等以後ノ卒業生ノ為メニ殊ニ眷顧ヲ加ヘラレ生等ノ大成ヲ希図セラレ候義ニテ生等ノ当ニ感佩致スヘキモノニ御座候然ルニ殊ニ生等ノ大成ヲ希図セラレ計画被成候御趣意モ却テ生等ニ言フヘカラサルノ不便ヲ与ヘ以テ前途ノ障碍ヲ為スコト甚タ大ナルトキハ如何スヘキ生等ヲ眷顧シ生等ヲ利導センカ為メニ設ケラレタル新法ナレハ生等ノ障碍ト相成候事ト覺エ候上ハ黙止スルノ場合ニ無之ト奉存候依テ左ニ得業士ノ称生等ニ不便ヲ来シ候所以ヲ啓陳シ聊カ懇願致シ候トコロ有之候幸ニ展覽ヲ賜ハラハ実ニ望外ノ大幸ニ奉存上候

明治十五年文部省第四号達医学学校通則第十条ニ依レハ甲種医学校ノ教員中ニハ東京大学ニ於テ医学士ノ学位ヲ得タルモノ三名以上ナカルヘカラス又明治十七年太政官第一百号達判事登用規則第一条ヲ按スルニ判事ニ登用スルハ法学士代言人及ヒ試験ヲ行ヒ及第シタル者ニ限ルトアリ且其他ノ条々ニ於テモ学士ニハ特例ヲ附与セラル、モノ少カラス謹テ右兩則ヲ考フルニ学士ノ名アリテ得業士ノ目ナシ今若シ得業士ヲシテ学士ト同等異名ナラシムレハ学士ト同シク此特例ニ与ルヲ得ヘキハ当然ノ義ニ候得共更ニ高等ノ試問ヲ受ケサレハ学士ノ栄号ヲ享クルヲ得サルトスルキハ或ハ得業士ハ此特例ニ与ルヲ得ヘカラサルカ既ニ申述ヘ候如ク生等以前ノ卒業生ニ厚クシテ生等以後ノ卒業生ニ薄キノ理由之レナク候故同等異名ニ止マリ学士ト等シク右等ノ特例ニ与ルヲ得ヘキトハ信シ候得共若シ同等異名ニ非スシテ降テ学士ト等ヲ異ニシ学士ノ特例ニ与ルヲ得サルカ如キアラハ生等ノ不便何ヲ以テ之ニ加ヘン是レ得業士ノ称ノ不便ヲ来ス第一ノ

理由ニ御座候

方今学士ノ称号ヲ附与スルモノ本学ニ止マラス工部大学ト云ヒ旧司法省法学校ト云ヒ駒場農学校ト云ヒ札幌農学校ト云ヒ皆卒業生ニハ学士ノ栄位ヲ与ヘテ得業士ノ称ナシ今彼ノ在学中ニ修ムル所ヲ以テ之ヲ我在学中ニ修ムル所ニ比スルニ一步モ彼レニ譲ルコトナカルヘシ而シテ彼レハ則チ直チニ学士タリ我ハ更ニ高等ノ試問ヲ經ルニ非サレハ学士タルヲ得ス夫レ社会ニ表ハル、モノハ名ナリ名既ニ彼レニ劣ル社会果シテ何等ノ感覺ヲ生スヘキヤ生等ノ如キ久シク本学ニ在リ委シク彼我ノ状態ヲ知ルモノスラ尚ホ且惑ヘリ況ンヤ之ヲ知ラサルモノニ於テオヤ我卒業生ヲ以テ彼ノ四校ノ卒業生ニ及ハストスルハ必然ノ勢ト存候然ラハ則チ彼ノ四校ノ卒業生ノ如キハ善ク社会ニ遇セラレ我卒業生ハ社会ノ為メニ卑下セラル彼ハ則チ実地ニ試ミルノ機会ヲ得テ実業愈々進ミ我ハ則チ之ヲ得スシテ実業挙ラス然ルハ則チ彼ノ学力我ニ劣ルモ忽チ我ニ優ルノ実業ヲ興スヘシ實ニ我学位ノ卑キカ為メニ後來ノ進歩ヲ妨害セラル、コト如此生等窃カニ虚名ノ実ヲ冒サンコトヲ恐レ候是レ得業士ノ称ノ不便ヲ来ス第二ノ理由ニ御座候

前ニ述ヘシ如ク教則ハ日ニ整頓シ学科ハ日ニ高尚ニ赴キ授業ノ方法モ亦日ヲ追フテ進歩スルニアラスヤ然ラハ則チ同等ノ才力ヲ有スルモノヲシテ此整頓シタル教則ニ依リ日ニ高尚ニ赴クノ学科ヲ履ミ愈々進歩シタル授業ノ方法ヲ以テ之ニ加ヘシメハ前ノ卒業生ニ対シテ決シテ劣ルヘキノ理由アルヘカラス然ルヲ若シ俄カニ一等ヲ下シ生等ヨリ以還生等以前ノ卒業生ト同等ノ榮

譽ヲ享クルヲ得ス同等ノ特例ニ与ルヲ得サラシメハ是レ或ハ權衡ヲ失スルニ似タリ是レ得業士ノ称ノ不便ヲ来ス第三ノ理由ニ御座候

或ハ学士ノ称高キニ過キ卒業生ノ未タ当ルヘキニアラストセンカ夫レ或ハ然ラン然レモ若シ学士ノ名ヲ以テ高キニ過クルト云ハ、得業士ノ名モ亦高キニ過クルト云ハサルヘカラス蓋シ学業ヲ得タルノ証ハ実業ニ在リ実業挙クルニ非サレハ未タ以テ此榮名ヲ附与スヘカラス然ラハ則チ名目ノ論ハ遂ニ底止スル所ナカルヘシ而シテ文部省ハ既ニ大学ノ卒業生ニ与フルニ学士ノ榮稱ヲ以テセラル卒業生ハ即チ学士ナリ学士ハ即チ卒業生ナリ今日ニ至ル迄未タ曾テ学士ノ称号社会ニ不都合アリシヲ聞カサルナリ然ラハ向後ト雖モ同等ノ学力ヲ有スルモノニハ学士ノ称号ヲ附与致サレ候共不可ナキカ如シ然ルニ生等以後ノ卒業生等ハ更ニ高等ノ試問ヲ經サルハ学士ノ榮位ハ享クヘカラス是レ得業士ノ称ノ不便ヲ来ス第四ノ理由ニ御座候

此四ノ者ハ皆是レ得業士ノ称ハ以テ大ニ後進ニ不便ヲ来ス所以ニシテ生等ノ黙止スル能ハサル所ニ御座候實ニ教員醫師代言師ノ如キハ社会ノ表面ニ立チ社会ノ模範タリ社会ノ先驅タリ最モ社会ノ信用ヲ重スルノ業ニ於テハ其位名ノ關係最モ多キモノニ有之候得ハ生等以後ノ学生ニシテ是レ等ノ業ニ志アル者ニ取りテハ不幸ノ至リト奉存候然ルハ則チ得業士ノ称号ノ新設ハ御趣意トセラル、所ノ良効ヲ奏セスシテ却テ予想外ノ結果ヲ生セシコト凶ルヘカラス是レ生等ノ大ニ恐懼スル所ニ御座候

既ニ反覆申上候如ク本学ニシテ新法ヲ設ケラレ候ハ真ニ生等以

後ノ卒業生ハ生等以前ノ卒業生ニ劣レリトナサレタルニハ之レ
 ナク全ク生等以後ノ卒業生ヲ奨励セラレ生等ノ大成ヲ希図セラ
 ル、ニ出タル儀ニ候事ト臆測仕候得ハ生等以降ノ卒業生ニモ從
 来ノ如ク直チニ学士ノ称号ヲ附与セラレ学士ノ上ニ尚ホ高等ノ
 学位ヲ設ケラレ其名ハ或ハ大学士ト称シ(朱書)博士ト称シ或
 ハ某科専門学士若シクハ得業士ト称スル只本学ノ命スル所ニシ
 テ不可ナキカ如シ此理明白生等ノ喋々ヲ須タス既ニ御了知ノ事
 ト奉存候得ハ尊蔽ヲ冒瀆シ申上候ハ甚タ恐入候得共若シ然ルハ
 ハ生等以前ニ卒業シタルモノモ同シク其榮名ヲ享クルヲ得ヘク
 生等以後ノ卒業生モ亦共ニ之ヲ享クルヲ得ヘシ然ラハ則チ社会
 ノ上ニ立チ社会ノ大勢ヲ左右スルノ英傑トナリ学者トナルモ只
 其好ム所高等ノ試問ヲ受クル可ナリ実地ノ事業ニ依ルモ亦可ナ
 リコ、ニ於テ乎名実併セ得テ前陳ノ不便尽ク除去シ本学ノ期セ
 ラル、良果ヲ得ンコト疑フヘカラス何卒前陳ノ事情御推察被下生
 等以後ノ卒業生ト雖モ從來ノ通り直チニ学士ノ榮位ヲ附与セラ
 レ度偏ニ奉懇願候尚ホ後年ノ学生々徒モ同感トハ奉存候得共生
 等殊ニ新則ニ從フヘキ最初ノ学生ニ御座候間敢テ諱憚セスコ、
 ニ法理文学部第三年学生及ヒ医学部三等学生連署ヲ以テ右ノ段
 奉伏願候何卒特別ノ詮議ヲ以テ願意御採用被成下度懇切ノ至リ
 ニ堪ヘス誠恐誠惶頓首

明治十八年四月

伊藤辰吉

㊤

伊東祐徳

㊤

市野金一郎

㊤

乾 孚志

㊤

岩崎三省

㊤

稻生 悌

㊤

羽生頌親

㊤

芳賀榮次郎

㊤

波多野 惇

㊤

堀内篤蔵

㊤

千葉稔次郎

㊤

生沼永保

㊤

大橋嶽太郎

㊤

大西克孝

㊤

大西小三太

㊤

大谷津直磨

㊤

大平杵次郎

㊤

小川廣太郎

㊤

岡野敬次郎

㊤

岡本 昇

㊤

小山龍徳

㊤

渡邊 隆

㊤

川瀬泰輔

㊤

甲野泰造

㊤

谷村太刀馬

㊤

坪井正五郎

㊤

中野省吾 ①

長澤市蔵 ①

宇山道碩 ①

植村俊平 ①

能勢静太 ①

山田岩次郎 ①

山田文太郎 ①

山内武七 ①

山崎甲子次郎 ①

牧野清利 ①

小池亮琢 ①

小林柏次郎 ①

江澤賤男 ①

澤崎頼之助 ①

坂田快太郎 ①

榊原幾久若 ①

嵯峨根不二郎 ①

實吉益美 ①

佐々木 達 ①

南 良助 ①

三浦謹之助 ①

柴田耕一 ①

宍道弘一 ①

白井光太郎 ①

宍戸宗之助 ①

下山秀久 ①

平原元義 ①

平山 順 ①

疋田復次郎 ①

森 友道 ①

関 成治 ①

鈴木千代吉 ①

鈴木吉忠 ①

鈴木文太郎 ①

戸田恒太郎 ①

東京大学総理 加藤弘之殿

(欄外注記)

〔朱書〕
〔検閲〕 副総理 (花押)

医学部長 (三宅秀) ①

文学部長 (外山正一) ①

法学部長 検了

理学部長 (菊地大麓) ①

〔検印録〕明治十八年、①F1